
大容量太陽光発電システム用パワーコンディショナ収納エンクロージャを拡充 2MW級エンクロージャで設置面積と導入コストの削減に寄与

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:町田 精孝)は、大容量太陽光発電システム用パワーコンディショナ(以下、PCS)3台を1基で収納する2MW級エンクロージャを開発、発売しました。TMEIC製PCS:PVL-L0665E(665kW)×3台を収納することで、1.995MWシステムを1基のエンクロージャで実現。高圧連系システム用エンクロージャとすることで、設置面積の削減および導入設備費、現地工事費のコストダウンが図れます。

エンクロージャにはエアコンが装備され、室内機/室外機との配管および配線も工場にて完結して現地に一体搬入することができ、メガソーラーの建設コスト削減に大きく貢献します。また、エンクロージャは輻射熱遮断構造として、エアコンの冷却損失低減が図られています。

本エンクロージャの特徴を纏めると以下の通りです。

- ① 最大容量2.25MW(TMEIC製PCS:PVL-L0750E(750kW)×3台収納の場合)で、PCSを2台と1台で別収納した場合に比べ収納効率が106→125kW/m²に18%改善。
- ② エアコンを装備、配管・配線は工場にて完結、現地配管・配線工事不要で建設コストを低減。
- ③ 外形寸法・重量は、「7800mm(W)×2300mm(D)×2900mm(H)、約9000kg」。一体搬入可能。
- ④ 射熱遮断構造および密閉冷却構造で、省エネ性と収納機器の保護性能を両立。



報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 事業開発・広報部

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4645 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレーターとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。